

資料提供	
平成 29 年 8 月 14 日	
担当課 (担当者)	特別支援教育課 (野口)
電 話	0857-26-7575

離れていても人と人をつなぐ！

分身ロボット「OriHime」を使った学習支援の導入について

本県では、鳥取県×日本財団共同プロジェクトとして、難病の子どもの地域生活支援に取り組んでいます。

この度、障がいや病気により学校に通えない児童生徒等が、家庭や病院等においても所属校等の児童生徒と共に学んだり活動を共有したりすることができるよう、ICT 機器（分身ロボット「OriHime」）を活用した学習支援を実施することとなりました。

この取組は、「つなぐプロジェクト」（代表：今川（いまがわ）氏）と協働で進めており、「つなぐプロジェクト」に導入されている分身ロボット「OriHime」を学校に貸し出して使用できるようになっています。今年度は、鳥取県立鳥取養護学校、鳥取県立皆生養護学校、米子市立就将小学校の 3 校が活用する予定となっています。

については、最初の導入校を、鳥取県立皆生養護学校とし、下記のとおりデモンストレーション等を計画していますので、お知らせします。

#### 記

1 日時 平成 29 年 8 月 17 日（木）午後 1 時から午後 3 時まで

2 場所 鳥取県立皆生養護学校  
鳥取県米子市上福原 7 丁目 13 番 4 号 電話 0859-22-6571

3 内容

- (1) 分身ロボット「OriHime」デモンストレーション
- (2) 教育活動例説明
- (3) 分身ロボット「OriHime」使用法レクチャー

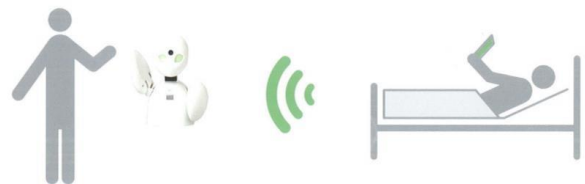
4 参加者

特別支援学校教職員、特別支援学校 ICT 支援員、つなぐプロジェクトスタッフ 約 15 名

#### 【参考】

##### 分身ロボット「OriHime」について

カメラ・マイク・スピーカーが搭載されている上半身人型のロボット。インターネットを通して操作し、手を挙げる、首を振る等の動作、音声出力等が可能。



##### 「つなぐプロジェクト」について

日本財団と鳥取県の共同プロジェクトの一環として設立された「小児在宅支援センター」と連携し、鳥取県小児在宅支援者ネットワークの拠点となることを目指した団体。